



学校だより

かさぎ7月号

令和4年7月

曾於市立笠木小学校



思春期

校長

野村佳史

今年の学級園は、例年と比べて草が生えていないことにお気づきでしょうか。これは、外掃除の時間に草取りを行ったことに加え、登校してからおはようタイムまでの時間や、休み時間、さらには、タグラグビーが始まるまでのわずかな時間など、隙間時間を使って気付いた子が進んで草取りをしてくれたからです。細かなところまで気が付き、実行できる子供たちの姿にはいつも感心させられます。1学期を振り返ると、語先後礼を意識したあいさつ、授業中に自分の考えを堂々と発表している様子、友達と協力しながら掃除や飼育当番をする姿など、キャッチフレーズである「にこにこ はきはき 生き生きと、共にやり抜く 笠木の子」が学校生活のあらゆる場で見られた1学期でした。これもひとえに保護者・地域の皆様方の学校教育に対する御理解と御協力のおかげと深く感謝申し上げます。

さて、いよいよ夏休みになりました。子供たちが家庭で過ごす時間が多くなり、親として子供へ声をかける機会が増えたことと思います。学校保健委員会で有園先生による褒め言葉の効果についてお聞きになり、さっそく実践されているところだと思いますが、ときには、自分の思いが子供に素直に伝わらないこともあるのではないのでしょうか。特に、思春期を迎える高学年にもなると自分の子供であるのに扱いにくいと感じるときもあるかも知れません。思春期は、成長する過程で大人の自分を確立する重要な時期であり、自我が芽生え始めるため、反抗的な態度をとることもあるからです。子供たちは遅かれ早かれ、必ず思春期を迎えます。反抗的な態度も子供が正常な発達段階を迎えている証拠なのです。例えば、母親が思春期の男の子に、「雨が降りそうだから傘を持って行きなさい」とアドバイスすると、それを無視したり、反抗的な態度を見せたりすることがあります。母親としては子供のためを思って声を掛けたつもりでも、思春期の子供には、それが自分の行動に対する「監視」や「支配」に思えてしまうのです。

私は、心理学者の河合隼雄氏の言葉に思わずうなずいてしまいました。それは、「青年期というのは、今までに建てた一つの家を壊して新しい家に建てかえるのだ、と思うとよく解るときがある。子供のときに、子供なりの家ができあがるのだが、それは仮小屋であって、それをペースとして仕事をなしつつ、結局はその仮小屋も壊してしまつて、新しい家をつくらねばならない。仮小屋がしっかりしていないと新しい仕事をしてゆくのには差支えるのはもちろんだが、仮小屋に力を入れすぎて、まるで本屋にでもできそうなものをつくっておくと、建てかえが大変である。家庭内暴力をふるう子供の多くは、仮小屋を建てるときに、親が妙に張り切り過ぎて、本屋まがいのものを建てさせたようなところがある」というものでした。大人になろうとする子供にとって、その「仮小屋」が窮屈で頑丈であるほど、壊して前へ進むには相当の反発力が必要になり、それはしばしば「暴力」という形で表れるというのです。親は慌てたり怒ったりするのはなく、「大人になろうともがいている」ことを受け入れ、見守っていくことが大切です。(放任してはいけません。)人は誰でも、親に反抗したり、親を否定したりしながら成長していくものなのです。(私も確かそうでした。)ただし、生命に関わることや人として絶対にしてはいけないことに対しては、毅然とした態度でなぜいけないかを説くことはとても重要なことです。

夏休みの間、お子さんのことで気になることありましたら、些細なことでも学校へ御連絡ください。しっかりと連携を図って子供たちの成長を支えていきましょう。





校内水泳学習発表会



学校保健委員会（家庭教育学級）



全校体育（長縄跳び）



田の草取り見学



タグラグビー大会受賞伝達



長寿会女性部からの雑巾贈呈

受賞おめでとう

【健康に関する標語】

特選 1年 金澤 輝虎
2年 家入 洗誓

【歯と口の健康週間 図画コンクール】

銅賞 2年 家入 洗誓
5年 野村 美海



【1学期多読賞】


1年 林 玲那
2年 徳留 朋輝
3年 永山 小夏
永山 凜々愛
4年 山元 虹輝
5年 大村 千愛
6年 家入 琉誓

【県図画作品展曾於市審査】

特選 1年 川原 可楠
2年 野村 英翔
3年 永山 小夏
4年 徳留 悠稀
5年 大村 千愛
野村 美海
6年 逆瀬川 隼
中根 千尋

※大村千愛さんの作品は県審査会へ

8月の行事予定と目標

- 1日（月）出校日
- 6日（土）PTA 学校キャンプ
- 10日（木）子ども議会 
- 11日（木）～15日（月）
学校閉庁日（この間は学校施設開放は行いません）
- 19日（金）出校日
- 28日（月）PTA・地域合同奉仕作業

生活目標

○ 規則正しい生活をしよう

保健目標

○ 病気の治療をしよう

南日本新聞「子供のうた」より

給食

六年 逆瀬川 隼

六年生になった 学校のお手本だ
一年生の給食のお手伝い
お皿につく量 つぎ方
給食着のたたみ方
一年生が分かってくれるには
どうしたらいいのかな
ていねいに教えたら
一年生ができて うれしいな
ほくも早く食べ終わるように
がんばるよ



《講演会のお知らせ》

7月8日（金）の学校保健委員会（家庭教育学級）で紹介がありました「ほめ日記」の創始者、手塚千砂子さんの講演会が行われますのでお知らせします。

開催日時：8月11日（木）リナシティかのや 14:00～16:00 参加費は1500円です。